医療福祉学研究科

医療福祉経営専攻（修士）

ディプロマ・ポリシー

1.国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを充分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を涵養できている。
2.医療福祉分野において明確に目的意識を持ち、専門職業人としての使命感、倫理観など医療プロフェッショナリズムを備え、専門分野での研究や臨床を実践できる。
3.専門分野における幅広い知識、技能と判断力を修得し、専門職業人としての論理的思考や深い学識を養い、卓越した教育、研究あるいは臨床能力を十分に発揮できる。
4.実践家あるいは教育・研究者としての自立性を確立でき、優れた実践能力やコミュニケーション能力と国際性を培い、指導的立場で活躍できる。
5.（看護学分野 管理実践看護学領域のみ）複雑化する保健医療福祉の課題を分析し、解決策を提案ならびに、政策提言を行うことができる。
6.所属分野が特定の修了要件を要求する場合、それを満たしている。
7.修士および博士課程の修了要件として、①大学院学則に定める修業年限以上在学し、②授業科目について所定の単位以上を修得し、③必要な研究指導を受けた上で、修士課程においては修士論文の作成または課題研究を行い、修士論文審査（または課題研究成果の審査）および所定の試験に合格した者、博士課程においては博士学位論文の作成を行い、博士学位論文審査および所定の試験に合格した者を修了とする。

【注意】
- 科目名は分野・領域ごとに異なる
- 医療系専門職の資格を取得する分野は修了後、受験もしくは資格取得申請が必要な場合がある
- 修了要件は各分野・領域ごとに異なる

		共通科目	専門科目		
			講義科目	演習・実習科目	研究指導科目
		医療福祉に関する高度な学術知識を身に着ける	自らの専門分野における研究の基礎となる知識を修得する	医療福祉の高度専門職としてのスキルを修得する	学位に相応しい研究を遂行し、成果をまとめる
1年次	前期	・研究遂行の基礎となる技能を修得する ・研究倫理に関する知識を身に着ける ・研究計画を策定する	A:研究・教育の方法 ・研究倫理特論 ・修士課程のための研究法入門 ・統計学入門 ・質的研究法概論 ・英語論文執筆演習 など B:人間・集団 ・疫学概論 ・人口問題と政策 ・医療福祉における栄養学 など C:保健・医療・福祉 ・医学概論 ・最新の医療福祉の動向Ⅰ・Ⅱ ・災害医療論 ・がん医療総論・各論 など D:経営と管理 ・医療経済学概論 ・医療福祉政策・管理学概論 ・医療福祉連携論Ⅰ・Ⅱ など E:情報システム ・医療情報システム概論 ・医療福祉面接記録法	講義Ⅰ 医療経営学入門、保健医療福祉政策論Ⅰ、データ解析のための統計学入門、財務会計論、医療情報分析における統計処理Ⅰ、介護福祉・ケアマネジメント学講義、医療福祉学Ⅰ、医療福祉ジャーナリズム概論、医療福祉ジャーナリズム特論、医療通訳概論など 講義Ⅱ 保健医療福祉政策論Ⅱ、医療人事管理、ビジネス定量分析、医療マーケティング論、医療の質と診療記録のあり方、高齢者介護学、介護管理学、介護保険事業各論、医療福祉学Ⅱ、医療福祉データジャーナリズム特論、国際医療事務・マネジメント論 など	演習Ⅰ 医療経営演習Ⅰ 医療福祉ジャーナリズム演習Ⅰ など 実習 高齢者介護施設実習Ⅰ、ケアマネジメント実践実習Ⅰ など 演習Ⅱ 医療経営演習Ⅱ、診療情報管理学演習、ケア理論演習、自立支援介護計画演習、医療福祉ジャーナリズム演習Ⅱ、医療通訳演習Ⅱ など	研究指導Ⅰ 文献検索とクリティーク、研究計画など 研究指導Ⅱ 研究デザイン、データ収集など
	M1研究報告会				
	後期	・データの収集をする			
2年次	前期	・データを分析する ・修士論文にまとめる			研究指導Ⅲ データ収集と分析など
	学位論文審査				
	後期				研究指導Ⅳ 論文作成など
	研究発表会				

修士論文/課題研究

学位取得